

せい わ



☆発行所☆
府中静和寮
 広島県府中市土生町1636番地の1
 TEL (0847) 41-2375
 FAX (0847) 41-8620

☆発行人☆
 寮長 高尾 芳文

年頭挨拶 動き始めた地域ケア整備推進委員会 大橋 互

平成十九年の新春を迎え本年一年の計をどのように推考し、社会福祉法人としての今後の地域福祉活動はどうあるべきか、その方向と姿勢を具体化し、地域福祉への貢献に力たく思慮しながら三日目を迎えてしまいました。

「これからは走りながら考える」
 曾て、厚生労働省は「介護保険制度」をスタートさせるに当たって、「これからは走りながら考える」と制度完成までには、相当の間、随時随所で制度を見直しながら適時転換実施をすることによって、制度改善を実行することを予告していたことを今強く再認識している者であります。

「社会福祉法人経営の現状と課題」
 先般「社会福祉法人経営の現状と課題（新たな時代における福祉経営の確立に向けての基礎作業）」と明記して、社会福祉法人経営研究会から平成十八年八月十一日に出版され、本誌「おわりに」において要旨が記載されている。

この研究会参加メンバーとしては、学識経験者・田中滋氏他一名、ゲストスピーカー・小山秀夫氏他四名、全国社会福祉施設経営者協議会・高岡國士氏他七名、厚生労働省・中村秀一氏他八名、全国社会福祉協議会・栗和田敏氏二名が記載されている。

「報告書をたたき台に、関係者が役割に応じて、新たな時代の福祉経営の確立に……」
 この「おわりに」の末尾に「今後、この報告書をたたき台に、関係者がその役割に応じて、新たな時代の福祉経営の確立に向けた取り組みを行っていくことを期待したい。」と銘記されている。

この研究会は、当時の国、地方財政の厳しさと平成十六年介護保険法改正（施設給付の見直し等及び居住費、食費など対象外への見直し、介護報酬の引き下げ、更に加えて三位一体改革に伴う施設整備費国庫補助制度が一般財源化に外されるなどの状況の厳しい変更により発生する現場での苦渋や更には、今後の認知症の増大、高齢者の虐待問題、老老介護から発生する高齢者が高齢者を虐待するという老老介護の互助介護的、又は老若介護タイプ生活によって自然発生する課題、閉じこもり症候群の事例等が問題化されている。

更に右に述べた諸々の問題点に加えて今日、大きな課題として、昨年十一月に経済財政諮問会議で、厚生労働大臣に提案があった「医療と介護サービスの高コスト構造是正プログラム」が今や注目を集め、介護保険事業支援計画策定が既に県単位で稼動し計画作成のためのデータ調査が進行している。

全国に渡って当面平成十八年、平成二十年度次の期としては平成二十三年度を当面の計画作成期間としているが、現時点では、「相当な準備過程後」のことと思われるが、この件については、アンテナを張って冒頭で記載した「社会福祉法人経営の現状と課題」を当分の間、必須のバイブルと考えている。

紙面の都合上、最近配達された介護関連誌の「社説」の一部を拝借させて頂いて、この稿を執筆させて頂きます。

【社説 某氏】
 ※団塊世代が六十五歳以上に達し始める十二年度を「きわめて重要な改革機関」と位置付けて、医療・介護で、①07年度から5年間の計画を策定し、②国の歳出抑制目標「兆一億円のうち5年間でどれだけ達成できるか数値目標を明示してPDCAサイクルのもとで②を達成する」というのが狙いだ。

※在宅介護での医療行為が業務上制約となることが多いため、在宅での看護師業務の一部を介護職に開放と同時に、看護師にも医療業務一部に参入できるようにする。「それぞれ高度化を図ることが生産性の向上に必要という発想だ」

※介護職や看護師の業務内容は、技術の変化などに応じて柔軟に見直すべきである。専門性を高めてもそれを発揮する場がなければ宝の持ち腐れだ。介護・看護の専門職が高度な在宅機能を担えば、医師の本来的機能もつと生かされる。それにまた、もはや職域団体同士がエゴをぶつけ合いながら既得権益を守る時代でもない。

※特養の経営も、企業が参入すれば解決するとは限らないが、社会福祉法人のみが独占する必要は弱まっている。

※いつまでも規制の保護に、「籠城」しては存在意義は失われる。逆に、社会福祉法人ならではの強みを新たに見出す好機とらえてはどうだろうか。(三)

恒例! **交通安全もちつき大会**



昨年末に第16回交通安全もちつき大会が開催されました。

「年末交通事故防止県民総ぐるみ運動」に合わせ、府中市と府中交通安全協会（橋高泰司会長）の主催で例年通り府中静和寮で開催されました。開催に当たっては、伊藤吉和市長様や府中警察署、府中市交通安全協会の方々、また土生保育所の園児たち31名が丸となり、静和寮ご利用者と力を合わせもちつきを行いました。

うすと杵を使った、昔ながらの製法で作るもちの味は格別なもので、みなさんそれぞれ、味を楽しんでおられました。

また、アトラクションとして、園児たちによる踊りや手話を使った歌等の披露があり、また府中警察署の婦警さんによる腹話術での交通安全講話もあり、みんな楽しんでおられました。

静和寮ご利用者 園児と一緒にもちをつねりました。丸めたともちをぜんまいにして、食べました。



『腹話術での交通安全指導』園児たちも交通安全について楽しく学びました。



祝百歳

平迫ナツさん

昨年10月、平迫ナツさんが、内閣総理大臣より百歳のお祝いをしてもらわれました。ご家族に見守られながら表彰状と記念品を受け取られました。とても喜ばれ、「ありがとうございます」と涙ぐんで何度も何度も言われました。



笑顔がとっても素敵な平迫さん、これからもおもしろいものをたくさん食べて元気な日々を送ってくださいね。(きく寮職員一同)



府中市福祉事務所長より記念品と表彰状を受け取られる平迫さん(中央)

ボランティア 団体様による 奉仕活動

毎年12月には各ボランティア団体様に奉仕活動をしていただいております。今年も、例年通り視覚障害者福祉協会(橋高則行会長)の方々によるマッサージュ奉仕や県理容生活衛生同業組合府中支部(持井忠之支部長)の方々による理容奉仕、そして国際ソロプチミスト府中(田治君子会長)の皆様による清掃奉仕と多くの方に奉仕活動をしていただきました。



日帰りレクリエーション

特 養



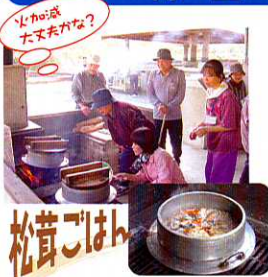
特養では10月にみろくの里と福山市立動物園へ行きました。みろくの里ではお菓子や人形などお土産を嬉しそうに買われていました。動物園では「ゾウさんが一番かわいかった!」「いろいろおるなあ」と話されていました。

養 護



養護ご利用者の方は11月に岡山のサウスヴィレッジに行きました。アイスクリーム作りを行い、「寮内に帰って「手作り料理」の時に作ってもいいなあ」という声が上がっていました。

青空料理



河佐峡でバーベキューをしました。まつたけ入りの炊き込み御飯も釜で作りました。「外の空気を吸って御飯を食べるのはおいしいなあ」と言いながら、みなさんそれぞれに満喫していました。



「和会」の皆様による、お目見のお茶会が開かれました。舞台には「すずき・お団子・お供物の野菜等」が飾られ、今年「出雲坂根の延命水」で立てられた一服のお茶とお菓子でもてなして頂きました。高橋和子会長様より「延命水で立てたお茶を飲まれ、ますます長生きされますように」とのお言葉を頂き、皆さん喜ばれました。



初めまして、
暁の星女子中学から
来ました。

こちらにも毎年奉仕活動に来ていただいている、「福山暁の星女子中学校」の皆様によるクリスマス会です。今回はクリスマスソングから始まり、寸劇「大岡越前」の披露までと、盛りだくさんのクリスマス会となりました。「この日のために練習した成果が生まれて、良かったです。」という感想を述べられました。



大岡裁きにより、一件落着!

「福山暁の星女子中学校」 クリスマスマス奉仕

職場紹介

調理・おせち料理

毎年新年は、調理担当の職員13人が、心をこめてつくりあげたおせち料理でお祝いをしています。

高齢でかたい物が食べにくくなったご利用者にも食べやすいように配慮した献立がなります。

見ても楽しく、食べておいしい、自慢のおせち料理です。



おせち料理を食べていただき、寒い冬を乗り切ってください。今年一年元気に過ごしてください。(調理スタッフ同)



お品書き

- 黒豆
- 数の子
- 茶きんしぼり
- ぶりの照焼き
- 松風焼き
- 海老の酒蒸し
- 煮物
- 花入参
- えんどう
- 高野豆腐
- 南瓜
- 椎茸
- くわい
- こんにやく
- 菊花かぶ
- 五色なます
- 酢ごぼう
- 梅酒ゼリー
- めで鯛授頭

松風焼き (4人前)

【材料】	【分量 (g)】
豚肉ミンチ	120
玉ねぎ	80
人参	20
干し椎茸	4
中味噌	40
砂糖	28
油	8

- ①玉ねぎ、人参、干し椎茸はみじん切りにする。
- ②①に豚ミンチ、卵、中味噌を入れ、かき混ぜる。
- ③混ぜた具②を油を引いた鉄板に広げる。
- ④200℃のオーブンで20分焼く。



おせち料理を彩る品を紹介いたします。皆さまもお試しください。



「黒豆や数の子などの正月を感じさせる料理が並び、おいしく頂きました。特に数の子の塩味が良かったよ。」

静和寮 レストラン

普段の食事では味わって頂くことができない雰囲気を楽しんで頂きたいと思い11月13日に食堂にて、レストランを開店しました。

メニューは刺身定食、親子丼等を選択メニュー形式とし、食べたい物を選んでいただきました。今回の目玉としては、新メニュー「和風ハンバーグ定食」は表面の焦げ目が美味しそうで、香ばしい匂いが厨房に広がっていました。皆さんいやかな雰囲気の中、どのメニューも好評で、ほとんど完食でした。これからも調理一同楽しいメニューに取り組みしていきたいと思えます。



福山ブロック研修会

12月5日に府中市文化センターで「福山ブロック研修会」が開催されました。これは県東部の福山市、府中市等の老人福祉施設が、決められたテーマについて研究発表し、互いの介護技術の向上を図ろうとするもので、毎年ブロック内の担当施設持ち回りで回っています。今回は32施設70名が参加し、そのうち5施設がそれぞれの取り組み内容を発表されました。また、広島県福山地域保健所から主任専門員お二人に「鳥インフルエンザ対策について」と「結核・感染症予防対策について」を講演して頂きました。

私も府中静和寮からは身体拘束廃止委員会が「尊厳を支えるケアへの取り組み」をテーマに身体拘束廃止に向けての活動内容を発表しました。

また、この度は府中静和寮がこの研修会の担当施設となっており、滞りなく催すことができました。職員一丸となって準備に奔走しました。

発表に於いては、その内容が委員会メンバーの考えに偏らないように、職員会議の場で全職員を対象にしたりハールを2度行い、原稿を仕上げて本番に臨みました。研修会当日は委員会介護職員の少々緊張した面持ちで始まった発表ですが、持ち前の若さとパワーで乗り切り(少々ひいき目にはなりますが)大変すばらしい発表になったのではないかと思います。

今回の研修会で学んだことを基に、委員会活動を通じて、より良いサービスを提供できる環境づくりに取り組みたいと考えております。



「身体拘束廃止委員会で話し合った成果を発表することができました。また、この経験を日々の介護に活かしていきたいです。」

(井原)

